

さいたま市立病院だより えがお

Vol.50



新年のごあいさつ



あけましておめでとうございます。

令和5年が皆さまにとって良い年であることをお祈り申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症の大きな波が当院の診療に大きな影響を与えました。面会禁止の緩和ができない状況が続いていて、患者さん、ご家族の方には不自由な思いをしておられる方も多いと考えています。本年は状況が改善することを祈っております。当院では、人材を充実させて、以前にも増して質の高い診療を継続できる強靱な体制を整備する予定です。

また、旧病院の解体を終え、外構工事も完了を迎えます。駐車場も格段に広くなり、市民の皆さまにアクセスしやすい、使い勝手の良い病院となります。加えて、旧周産期棟を改修し、「東館」と改名します。「東館」にはスポーツ医学総合センター、救急ワークステーションを整備します。

スポーツ医学総合センターは、市民のロコモティブシンドロームの予防と運動能力の向上による健康な生活の促進を目的とするとともに、アスリートの能力向上についてもサポートができる体制を作り上げてまいります。

救急ワークステーションは市の救急事業と市立病院の救急部門（3次、2次救急）をつなぐことが目標で、さいたま市救急事業に従事する職員の教育、研修をはじめとして、救

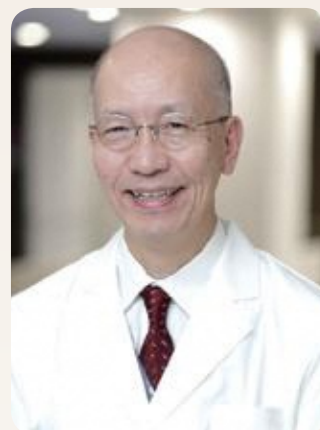
急システムの改善に大きな役割を果たしてゆくものと考え、病院として協力してまいります。

また、地域がん診療拠点病院としての役割を充実発展させて、地域完結型で高度ながん医療を提供できる体制を固めます。

救命救急センターが開所して2年、ドクターカーの運用を開始して6か月がたちます。市民の皆さまの期待にお応えできるように体制の充実に努めてまいります。脳血管疾患、心血管疾患に対する治療も引き続き、力を入れてまいります。

地域周産期母子医療センターとして新生児部門ともども市民の皆さまに安心して出産、育児ができる環境を引き続き提供してまいります。

本年も笑顔があふれる病院となるよう職員一同で努力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



院長
堀之内 宏久



**当院には、特定の看護分野について
優れた知識と熟練した看護技術を持ち
日本看護協会が認定した認定看護師、
特定行為研修修了看護師が在籍しています！**

この度「摂食嚥下障害看護認定看護師」の資格を取得しました。摂食嚥下障害看護認定看護師の役割は、食べることや飲み込むことが上手にできないなどの摂食嚥下障害を持つ患者さんに対し、食べるための機能を評価することで、食事内容や摂取方法を検討し安全な食事環境を調整することです。

私は、これから患者さんの「食べたい」という気持ちを大切に安全な食事を提供していきたいと考えています。

摂食嚥下障害看護
白石 春代



クリティカルケア
谷口 聡子



2020年度より認定看護師教育課程に看護師特定行為研修が組み込まれた、新カリキュラムの研修が開始され、それに伴い救急看護と集中ケアの分野が統合されてクリティカルケアとなりました。私は今年度、11項目の特定行為研修を修了し、クリティカルケア認定看護師の資格を取得しました。

救急から地域まで、クリティカルな状況から命・その人らしい生活をつなぐ、シームレスな看護を提供できるよう活動していきたいと考えています。

当院のドクターカーは医師、看護師、ドライバー、ナビゲーターの4名で出動しています。看護師は6名で、医師の処置・介助、患者・家族対応、記録を救急車内で行っています。ドクターカーは早期医療介入を目的としています。そのために私たちは知識、スキルの向上を目指し症例の振り返りを行い、共有し、シミュレーションを通して更に学習を深めています。

今後は、ドクターカー看護師を増員していくための教育にも力を入れていきたいと思ひます。




救急看護
中下 真由美

市立病院の各診療科の力を入れている診療内容（疾患・処置等）について、えがお内にて3回に分けてご紹介します（今回は第2回目で、次回は3月発行予定です）。

※当院は地域医療支援病院の承認を受けているため、予定受診をお考えの皆様には、かかりつけ医からの紹介状を持参し、受診していただくようお願いいたします。

外科	疾患	消化器の悪性腫瘍全般の治療を行っています。（大腸がん、胃がん、肝・胆膵のがん、食道がん） 良性の疾患でも手術が必要な症例は相談の上、迅速に対応いたします。（鼠径ヘルニア、胆石、虫垂炎、大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症、下肢静脈瘤など）
	処置	胸腔鏡下手術、気管支鏡によるインターベンションの治療経験が豊富です。ロボット支援下手術も行っています。
呼吸器外科	疾患	肺がん、縦隔腫瘍、気胸、膿胸、抗酸菌症等の手術の必要な炎症性肺疾患、気道疾患、横隔膜疾患、胸部外傷、胸部変形などの諸疾患に力を入れています。
	処置	胸腔鏡下手術、気管支鏡によるインターベンションの治療経験が豊富です。ロボット支援下手術も行っています。
形成外科	疾患	外傷、顔面骨骨折、熱傷、唇裂、多合指症、臍や耳介の変形、皮膚、皮下腫瘍、腫瘍切除後の組織欠損、瘢痕（ケロイド）、瘢痕拘縮（ケロイド）、下腿や足の潰瘍壊疽、褥瘡、眼瞼下垂、眼瞼内反症、リンパ浮腫、顔面神経麻痺、腹壁瘢痕ヘルニア、腋臭症、壊死性筋膜炎などの治療を行っています。
	処置	手術を中心に他科と共同での再建手術も行っています。
脳神経外科	疾患	脳出血、くも膜下出血等の、手術や脳血管内治療が必要な脳血管障害 心原性脳塞栓症など、脳血管内治療が必要な脳血管障害 脳腫瘍、頭部外傷、水頭症など先天奇形を治療しています。
	処置	開頭手術、神経内視鏡手術、脳血管内治療を行っています。
心臓血管外科	疾患	狭心症、心筋梗塞、心臓弁膜症、大動脈瘤、心臓外傷、収縮性心膜炎、感染性心内膜炎、先天性心疾患（成人）、心臓腫瘍の診察、治療を行っています。
	処置	冠状動脈バイパス手術、人工弁置換術、弁形成術、大動脈人工血管置換術、大動脈ステントグラフト内挿術について豊富な経験を有しています。
整形外科	疾患	整形外科は骨格の外傷や疾患を治療しています。専門性により以下のセンター等へのご紹介をお願いいたします。 ●脊椎センター：頸椎（頸椎症、椎間板ヘルニア、後縦靭帯骨化症など） 腰椎（腰部脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニア、変性側弯、圧迫骨折、靭帯骨化症など） ●人工関節センター：変形性膝関節症、股関節症、リウマチ性疾患による骨関節変形 ●スポーツクリニック：前十字靭帯損傷、半月板損傷、変形性膝関節症、肩関節脱臼など ●上肢：腱板損傷、手根管症候群、上肢の腱、靭帯、軟骨損傷、骨折など
	処置	●脊髄センター：鏡視下椎間板摘出術、経皮的前方・後方脊椎固定術などの低侵襲手術など ●人工関節センター：単顆型人工関節置換術、全人工関節置換術、人工股関節置換術、人工肩関節置換術など ●スポーツクリニック：鏡視下靭帯再建術、半月板縫合術、骨切り術、鏡視下肩関節手術 ●上肢：鏡視下腱板縫合術、手根管手術、靭帯再建、腱縫合、骨折手術
小児外科	疾患	新生児の外科疾患（鎖肛、食道閉鎖、横隔膜ヘルニアなど）に対応しています。小児外科全般 鼠径ヘルニア、停留精巣、臍ヘルニアなど、一般疾患の手術は1泊2日で退院できます。全身麻酔の検査は可能な限り当日退院となります。手術までの期間、お待たせすることが少ないです。また、外来での長期フォローアップや成人の科への移行がスムーズです。
	処置	新生児、小児の手術全般を行っています。

新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いします

 以下の症状がある方は、必ず事前に電話連絡をしたうえでご来院いただきますようお願いいたします。

発熱



強い倦怠感や
風邪の症状




においや味を
感じない




入口で検温を
お願いして
おります



 ご来院の際はマスクの着用をお願いします。



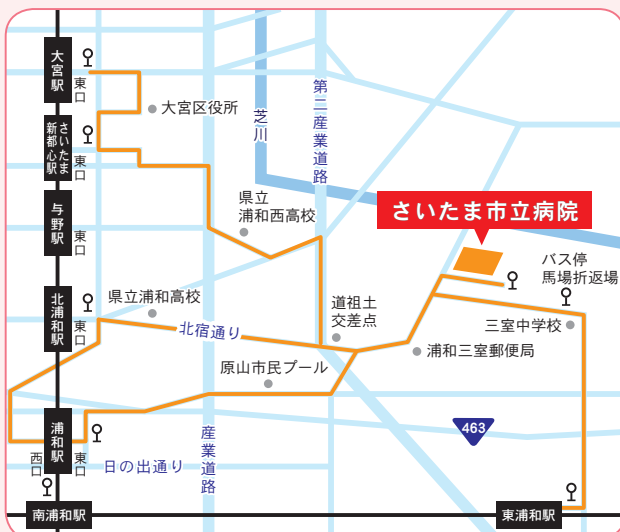
 面会を原則禁止とさせていただきます。

面会は、入退院時、病状説明時、手術当日など、医師または看護師からご連絡させていただいた場合に限りさせていただきます。また、洗濯物等の受け渡しでご来院の際は、病棟入口のインターフォン外側で対応いたします。



アクセス

- ・JR「北浦和駅」から
東口 東武バス「さいたま市立病院」行き 終点下車(約 15 分)
- ・JR「浦和駅」から
東口 国際興業バス「南台」行き「市立病院」下車(約 20 分)
西口 東武バス「さいたま市立病院」行き 終点下車(約 25 分)
- ・JR「さいたま新都心駅」から
東口 東武バス「さいたま市立病院」行き 終点下車(約 30 分)
- ・JR「東浦和駅」から
国際興業バス「馬場折返場」行き 終点下車(約 15 分)、
下車徒歩 5 分
国際興業バス「市立病院」行き 終点下車(約 20 分)
- ・JR「大宮駅」から
東口 東武バス「さいたま市立病院」行き 終点下車(約 40 分)



さいたま市立病院
住所 : さいたま市緑区大字三室2460
電話 : 048-873-4111
ホームページ : <https://www.city.saitama.jp/hospital/index.html>

令和5年1月発行 発行者:さいたま市立病院 院長 堀之内 宏久



※この印刷物は1,200部制作し、1部あたりの印刷経費は62.7円です。